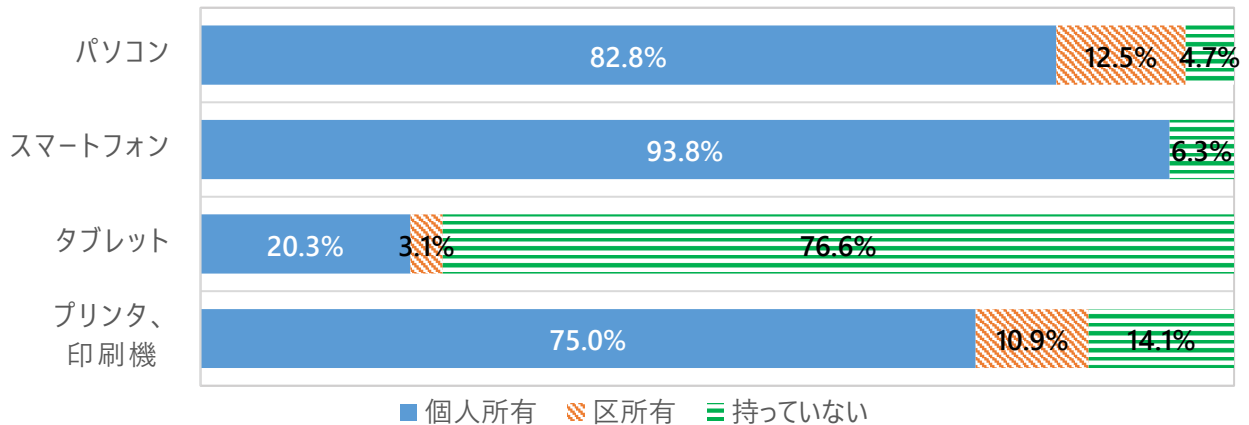


6/28 まちづくり講演会アンケート 集計結果

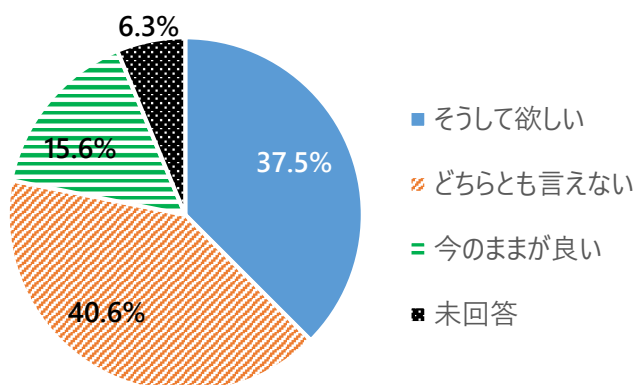
Q1. 区長事務における電子機器の使用状況について



パソコンとスマートフォンについては、「個人所有」「区所有」を併せ、9割以上の区長が、プリンタ・印刷機については8割以上の区長が業務で利用されており、業務の負担軽減のためのデジタル化を検討する土壌は整ってきていると言えます。

なお、タブレット端末については約2割の利用に留まっています。

Q2. 区長郵便の電子化について



区長郵便の電子化については、「そうして欲しい」、「今のままが良い」ともに一定以上の回答がありましたが、最も多かったのは「どちらとも言えない」で、全体の4割を占めました。

詳細を確認しますと、「すべて電子化すると区での共有や回覧がかえって煩雑になる」、「スマホやパソコンを

所持していない区長が困る」といったご意見がありました。

電子化については画一的に実施するのではなく、まずは「お知らせ」などの緊急性、重要性の低いものからとし、「照会」や「会議案内」などの重要なものや「回覧物」などは引き続き書面での送付とすることを前提に、引き続き検討していきたいと思えます。

Q3.デジタル化により区長の負担軽減につながると思うもの

申請事務等の電子化

- ・申請書関係は全てデジタルに。消火器管理、街灯管理をLINE可にしてほしい。
- ・工事申請以外についても、電子データでの取り扱いをしてほしい。
- ・会議案内等で未だに返信用ハガキや封筒が使われている。二次元コードでも回答できるようにする（市では一部やっているが、関連団体でもやってほしい）。

WEBツール等の導入

- ・区長に関係する課も結ネットを利用できるようにする。
- ・WEB会議システムの導入
- ・オンライン会議、LINE公式アカウントを作成したが、それへの支援
- ・区の公式LINEなどを市の主導で整備してほしい。
- ・区役員、組長とLINEで連絡するようにしている。市からも積極的に推進してほしい。
- ・区長に送られたり、配布される書類が多すぎて保管も大変である。必要な時に見に行けるシステムを導入してほしい。
- ・現在、標準ソフトのスケジュールアプリを使用しているが、市と共有のスケジュールアプリ等があれば様々なイベントの内容がワンタッチで確認できる。

その他

- ・区長用の地図システムがあると資料づくりに良い。またはゼンリン地図を配布してほしい。
- ・紙の広報誌は必要ない。希望者のみ配布すればよい。
- ・掲示板のデジタル化
- ・区長になられた方を対象に市のアプリやWEB申請に関するセミナーを開催すると良い。
- ・回覧物送付時の1ページ目の依頼文が不要です。

Q4.その他自由意見

- ・会議でタブレットを導入したい、補助金制度等を検討してほしい。
- ・小牧市の浄水場やごみ処理施設、下水処理施設などを見学したい。
- ・ニュータウン問題で高齢化を迎える桃花台としては高齢化対策の講演を望みます。
- ・ネットワーク化を推進してください。
- ・役員候補の選出方法
- ・区の役員や民生委員などの担い手がおらず非常に困っている。
- ・区民への情報周知の方法。子育て世代、共働き世代、小中学生など、市、区の運営に興味をもってもらうにはどうすればよいか？
- ・朝夕の通勤通学時の各道路の渋滞解消。抜け道の把握と通学路の危険解消
- ・自治会業務のデジタル化、モデル地区の導入メリット、デメリット、課題